

プレスリリース

ロベコ・ジャパン、新代表取締役社長就任を発表

2024年12月2日 東京:ロベコは、12月1日付で古庄 浩朗(ふるしょうひろあき)がロベコ・ジャパン株式会社の代表取締役社長に就任したことを発表しました。古庄は、引退する坪田史郎の後任として同職に就任し、ロベコの日本における事業活動全般の統括と運営責任を担います。

古庄 浩朗は、グローバルな資産運用会社において20年以上の経験を有します。ロベコ入社までUBP インベストメンツに所属し、営業本部長として機関投資家およびホールセール営業を統括していました。それ以前は、ピクテ、ウェリントン、レグ・メイソン、ピムコにおいて商品開発や営業の要職を歴任しました。早稲田大学法学部卒業後、ジャーディン・フレミング投信投資顧問(現 J.P.モルガン・アセット・マネジメント)でキャリアをスタートしました。

ロベコの営業・マーケティング部門グローバル責任者である Malick Badjie は次のように述べています。「坪田がロベコやお客様のために示してきた尽力に心から感謝するとともに、新たな人生の門出に際し成功を祈念いたします。また、古庄 浩朗を迎えることとなり大変嬉しく思います。古庄は、営業チームを率いて優れた実績を築いた経験を活かして、日本事業を戦略的に推進、拡大していくという重要な役割を担います。ロベコの日本における可能性を最大限に引き出すとともに、古庄がもたらす効果が全社的に広がっていくことと期待しています」。

古庄 浩朗は次のように語っています。「ロベコの一員として迎え入れられたことは誠に光栄であり、ロベコの前途には大きな期待を持っています。ロベコが社会に貢献する姿勢には深い感銘を受けており、事業の成功には、こうした姿勢がますます重要になってくると考えています。ロベコの成功に貢献できることを楽しみにしています」。

ロベコについて

ロベコは、1929年に設立された専門のグローバルな資産運用会社です。世界に15拠点を構え、オランダのロッテルダムに本社を置いています。1995年よりサステナブル投資を世界的にリードし、サステナビリティ、ファンダメンタル、およびクオンツ分野のリサーチを融合させることにより、機関投資家、個人投資家双方に対し、広範にわたる資産クラスを網羅した、幅広いアクティブ運用戦略を提供しています。2024年9月30日現在、ロベコ単体の運用資産総額は2,040億ユーロ(約32.567兆円*)であり、そのうち2,000億ユーロにESG要素が統合されています。ロベコは、オリックス・コーポレーション・ヨーロッパN.V.の子会社です。ロベコの詳細は、こちらをご覧ください:

www.robeco.com

ロベコ・ジャパン株式会社はロベコの日本法人で、2013年9月に設立。

* 1ユーロ=159.63979円で換算